

世界史 B

(解答番号 ~)

第1問 歴史の中の女性について述べた次の文章A・Bを読み、後の問い(問1～6)に答えよ。(配点 16)

A あるクラスで、各国において女性が全国レベルの参政権を獲得していった歴史についての授業が行われている。

先生：初めて女性が全国レベルの参政権を獲得したのは1893年のニュージーランドで、オーストラリアがそれに続きます。ただし、いずれの国でも白人女性に限られていました。

室井：どちらもオセアニアの国ですね。

先生：女性普通選挙権は1906年にフィンランド、さらにノルウェーで確立されます。

渡部：今度は北欧ですね。

先生：これらオセアニアや北欧の国々は、その頃、他国の支配下で自治が拡大するか、独立したばかりでした。例えば、フィンランドは19世紀に、当時帝国だった の領土になりましたが、1906年には一院制議会が誕生しました。オセアニアや北欧における女性参政権の実現は、自治拡大や独立の前後に国内の政治的結束が求められる状況と関係していました。また、オセアニアで参政権が白人女性に限られたことは、白人以外への差別の進展と並行していました。

佐藤：1918年にはイギリス、1919年にはドイツ、1920年にはアメリカ合衆国でも女性参政権が認められます。ただし、認められた女性の割合は国によって様々だったようですね。

先生：1910年代の世界で最も大きな出来事は何ですか。

佐藤：第一次世界大戦でしょうか。

先生：そのとおりです。①多くの国や地域を巻き込んだ第一次世界大戦では、出征した男性に代わって女性が工場などで働くようになり、社会に進出しました。このことが女性参政権の実現を促します。また、国によっては大戦末期の革命をきっかけに女性参政権が認められました。では、これまでに学んできたことと合わせて、授業の内容をメモにまとめてください。

問 1 文章中の空欄 の国の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ピョートル1世が、北方戦争でイギリスを破った。
- ② プロイセンとの戦いで、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン両公国を失った。
- ③ 第一次世界大戦後に、ピウスツキ(ピウスツキー)の独裁が行われた。
- ④ 21世紀に入ると、中国などととも BRICS(BRICs)と呼ばれた。

問 2 下線部②について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① オスマン帝国が、協商国(連合国)側に立って参戦した。
- ② フランス軍が、タンネンベルクの戦いでドイツ軍の進撃を阻んだ。
- ③ イギリスが、インドから兵士を動員した。
- ④ レーニンが、十四か条の平和原則を発表した。

世界史 B

問 3 生徒たちがまとめた次のメモの正誤について述べた文として最も適切なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 3

室井さんのメモ

ニュージーランドでは、自治領となった後に女性が全国レベルの参政権を獲得した。

渡部さんのメモ

第一次世界大戦で女性が社会に進出したことが、女性参政権の実現を促し、イギリスでも、1918年に初めて女性参政権が認められた。

佐藤さんのメモ

アメリカ合衆国では、第一次世界大戦末期のキング牧師による公民権運動をきっかけに初めて女性参政権が認められた。

- ① 室井さんのみ正しい。
- ② 渡部さんのみ正しい。
- ③ 佐藤さんのみ正しい。
- ④ 室井さんと渡部さんの二人のみが正しい。
- ⑤ 室井さんと佐藤さんの二人のみが正しい。
- ⑥ 渡部さんと佐藤さんの二人のみが正しい。

B ある大学のゼミで、学生たちが、「中国史の中の女性」というテーマで議論をしている。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

藤 田：次の資料は、顔之推^{がんしすい}が6世紀後半に著した『顔氏家訓』^{がんしかくん}という書物の一節で、彼が見た分裂時代の女性の境遇について述べています。

資 料

南方の女性は、ほとんど社交をしない。婚姻を結んだ家同士なのに、十数年経っても互いに顔を合わせたことがなく、ただ使者を送って贈り物をし、挨拶を交わすだけで済ませるということさえある。

これに対し、北方の習慣では、家はおっぱら女性によって維持される。彼女らは訴訟を起こして是非を争い、有力者の家を訪れては頼み込みをする。街路は彼女たちが乗った車であふれ、役所は着飾った彼女たちで混雑する。こうして彼女たちは息子に代わって官職を求め、夫のためにその不遇を訴える。これらは、平城に都が置かれていた時代からの習わしであろうか。

山 口：中国には、「牝鶏^{めんどり}が朝に鳴く」ということわざがあり、女性が国や家の事に口出しするのは禁忌であったと聞きます。資料の後半に書かれているように、女性が活発な状況が現れた背景は、いったい何でしょうか。

藤 田：著者の推測に基づくなら、に由来すると考えられます。

中 村：あっ！ ひょっとして、この時代の北方の状況が、中国に女性皇帝が出現する背景となったのでしょうか。

教 授：中村さんがそのように考える根拠は何ですか。

中 村：ええと、それはからです。

教 授：ほう、よく知っていますね。

山 口：資料にあるような女性の活発さが、後に失われてしまうのはなぜでしょうか。

藤 田：①この時代以降の儒学の普及とともに、資料中の南方の女性のような振る舞いが模範的とされていったためと考えられます。

世界史B

問 4 文章中の空欄 に入れる語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 西晋を滅ぼした匈奴の風習
- ② 北魏を建国した鮮卑の風習
- ③ 貴族が主導した六朝文化
- ④ 隋による南北統一

問 5 文章中の空欄 に入れる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 唐を建てた一族が、北朝の出身であった
- ② 唐で、政治の担い手が、古い家柄の貴族から科挙官僚へ移った
- ③ 隋の大運河の完成によって、江南が華北に結び付けられた
- ④ 北魏で、都が洛陽へと移され、漢化政策が実施された

問 6 下線部①について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

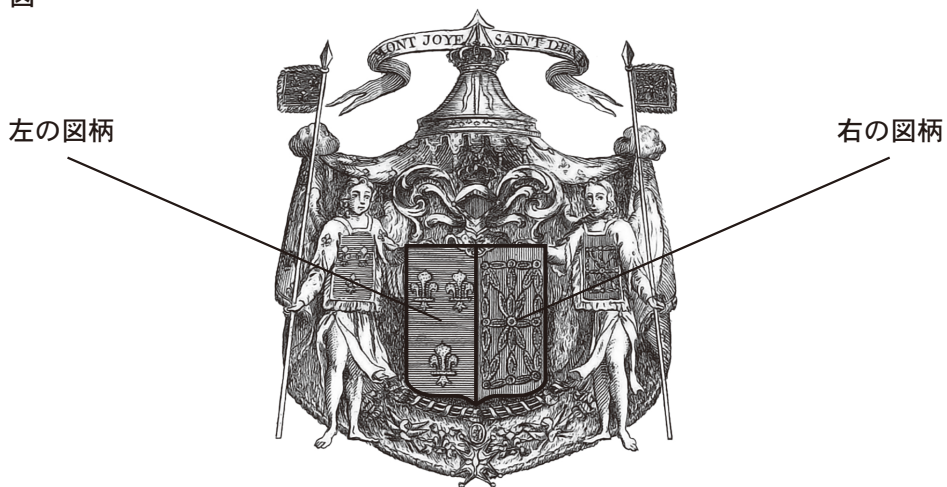
- ① 世俗を超越した清談が流行した。
- ② 董仲舒の提案により、儒学が官学とされた。
- ③ 寇謙之が教団を作り、仏教に対抗した。
- ④ 『五経正義』が編纂された。

第2問 世界史上において、君主の地位は様々な形で継承された。それについて述べた次の文章A・Bを読み、後の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

A あるクラスで、フランス王家についての授業が行われている。

先生：次の図を見てください。何か読み取れることはありますか。

図



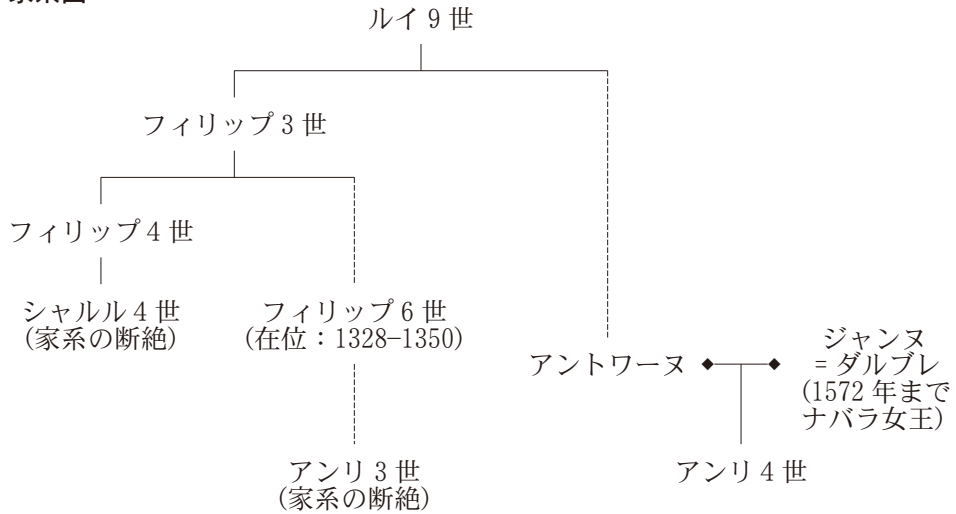
小林：中央に二つの図柄があります。左の図柄は、中世のヨーロッパについて勉強した際に出てきたクレシーの戦いの図版で見たことがあります。

後藤：ユリの図柄ですよね。フランス軍も、それに敵対したイングランド軍も、ともにこの図柄の入った旗を掲げていました。

先生：この図はアンリ4世から始まる王朝で使用されるようになる紋章ですが、紋章は家系のつながりや統合を表しています。次の家系図を見てください。ルイ9世の血筋は、一方はクレシーの戦いに関わったフィリップ6世に、一方はアンリ4世につながります。アンリ3世が死去し家系が断絶すると、アンリ4世が王となり、新しい王朝が始まります。ユリの図柄は、アンリ4世が以前の王朝とつながっていることを明確に表しています。

世界史B

家系図



◆—◆ : 婚姻関係

----- : 複数の世代をまたぐ

後藤：では、右の図柄は何ですか。

先生：金の鎖の図柄で、アンリ4世の母方の家系で使用されていた図柄です。

アンリ4世は即位前に母から別の国の王位を継承していました。アンリ4世の母は①ユグノーだったのですが、アンリ4世自身もユグノーであり、国内における宗教対立では、王家と対立する勢力の首領でした。

小林：アンリ4世は、ナントの王令を出した王だと習いました。この王令が出された背景には、アンリ4世の立場が関係していたんですね。

先生：こうした紋章は、当時王や貴族だけでなく都市なども独自のものを持っていました。宰相マザランが死去した後、親政を始めた **ア** は、こうした紋章を国家財政の問題を解決する手段として使います。当時、**イ**。こうした状況のもと **ア** は『紋章集成』を作成し、そこへの紋章の登録を義務化した上で、登録料を徴収しました。しかし、登録は思ったようには進まず、あまり成果を得られなかったようです。

問 1 前の文章と家系図を参考にしつつ、前の図について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 右の図柄は、クレシーの戦いにおける旗の図柄と同じである。
- ② 左の図柄は、アンリ4世がカペー朝とつながりがあることを表している。
- ③ フランス王家とイングランド王家との統合を表している。
- ④ アンリ4世が父からナバラ王位を継承したことを表している。

問 2 下線部③に関連して、ヨーロッパ各地におけるプロテスタントについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① サン＝バルテルミの虐殺により、多くの犠牲者が出た。
- ② ドイツ農民戦争が、ツヴィングリの指導の下で起こった。
- ③ ヘンリ7世が、国王至上法(首長法)を制定した。
- ④ イグナティウス＝ロヨラが、イエズス会を結成した。

問 3 文章中の空欄 に入れる人物の名あ・いと、空欄 に入れる文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

に入れる人物の名

あ ルイ14世

い ルイ16世

に入れる文

X ネットケルによる財政改革が進められていました

Y 度重なる戦争によって戦費が膨れ上がっていました

- ① あ－X
- ② あ－Y
- ③ い－X
- ④ い－Y

世界史B

B 次の資料1・2は、ファーティマ朝のカリフについて、後の王朝の二人の歴史家がその正統性を論じた文章の概略である。

資料1

私はファーティマ朝のカリフをこの『カリフたちの歴史』では採り上げなかった。彼らがクライシュ族ではないため、㊦カリフの資格がないからである。

ある法官によると、彼らの王朝の開祖が北アフリカで王朝を建てた時、アリーの子孫であると自称したが、系譜学者たちは誰一人彼を知らなかったという。また伝えられるところによると、ファーティマ朝の支配者の一人が、**ウ**の支配者に対して侮辱する手紙を送った時、**ウ**の支配者は、「あなたは私たちウマイヤ家の系譜を知っていて、私たちのことを侮辱した。しかし、私たちはあなたたちのことなど知らない」と返答したという。

このようなことから、私は彼らをカリフと認めず、記さなかったのである。

資料2

多くの歴史家に受け取られている愚かな情報の中には、ファーティマ朝カリフがアリーの子孫であることを否定するものがあるが、それは競争相手を非難してアッバース朝カリフに取り入る目的で作られたものである。アッバース朝カリフに仕える人々にとっては、ファーティマ朝にシリアやエジプトを奪われたまま奪還できない無能力を取り繕うのに好都合だったからである。

しかし、アッバース朝カリフがファーティマ朝成立当初に地方総督へ送った手紙の中には、ファーティマ朝カリフの系譜について言及があり、その手紙が、彼らがアリーの子孫であるということをはっきりと証明している。

カリフは、中世のムスリムによって、イスラーム共同体の指導者としてただ一人がその地位に就くとみなされていた。しかし10世紀にファーティマ朝や**ウ**の支配者もカリフを称し、複数のカリフが長期間並立したことで、ムスリムが従うべき正しい指導者は誰かという問題は、さらに複雑なものとなった。

資料1・2の著者を含め、スンナ派の学者たちは、カリフになるための資格に関して、ムスリムであることに加えて、7世紀初頭にメッカに住んでいたクライシュ族の子孫であることも必要な条件であると考えていた。ここで言及されているウマイヤ家もアリー家も、そしてアッバース家も、クライシュ族である。

問 4 文章中の空欄 **ウ** の王朝が 10 世紀に支配していた半島の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① トルコ系の人々が、この半島においてルーム＝セルジューク朝を建てた。
- ② ムラービト朝が、この半島における最後のイスラーム王朝となった。
- ③ ベルベル人によって建てられたムワッヒド朝が、この半島に進出した。
- ④ この半島で成立したワッハーブ王国が、ムハンマド＝アリーによって一度滅ぼされた。

問 5 下線部①の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

- ① 預言者ムハンマドが死亡すると、アブー＝バクルが初代カリフとなった。
- ② アブデュルハミト 2 世が、カリフ制を廃止した。
- ③ ブワイフ朝の君主はバグダードに入った後、カリフとして権力を握った。
- ④ サファヴィー朝が、アッバース朝(アッバース家)のカリフを擁立した。

問 6 資料 1・2 を参考にしつつ、ファーティマ朝の歴史とそのカリフについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **12**

- ① ファーティマ朝はアッバース朝成立以前に成立した王朝であり、資料 1 は伝聞や逸話に基づいてそのカリフの正統性を否定している。
- ② ファーティマ朝はスンナ派の一派が建てた王朝であり、資料 1 と資料 2 はともに系譜を根拠としてその支配者がカリフであると認めている。
- ③ ファーティマ朝はカイロを首都としたが、資料 2 はシリアやエジプトを取り戻せないという無能力によってカリフの資格がないと判断している。
- ④ ファーティマ朝はアッバース朝の権威を否定していたが、資料 2 はアッバース朝カリフの手紙を証拠としてファーティマ朝のカリフをアリーの子孫だと認めている。

世界史B

第3問 世界史を学ぶ際には、単に歴史知識を獲得するだけではなく、それに対する疑問や議論を通じて歴史への理解を深めることが重要である。そのような授業や対話の様子について描写した次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

A あるクラスで、世界史の授業が行われている。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

先生：次の資料は、かつてフランスの統治者であった人物の没後200年を記念して催されたある行事で、マクロン大統領が行った演説の一部です。

資料

イタリア遠征、アウステルリッツの戦闘、ロシア遠征など、彼の名は想像力を至る所で刺激し続けています。軍人、戦略家であるとともに立法者でもある彼の行動と教訓は、今世紀に至るまでなお健在です。パリの凱旋門、ヴァンドーム広場の円柱、イエナ橋、リヴォリ通りなどは、全て彼の功績です。しかし、国民公会が廃止した奴隷制を、彼は復活させました。私たちは、彼の帝国に関して最悪のものを忘却し、最良のものを美化してきたのです。(列席する学生に向けて)あなた方は、フランス人として、その歴史の中にいるのですから、これを学ばねばなりません。

岡村：トゥサン＝ルヴェルチュールが指導する **ア** の独立運動に対して、彼は軍を派遣して弾圧したにもかかわらず、フランスでは、現在でも彼の人気は根強いように感じます。

先生：彼のドラマのような人生も、魅力の一つなのかもしれませんね。例えば、次の図を見てください。ここには、彼が追放されていた地中海の島から脱出し、フランスに帰還する様子が象徴的に描かれているとされます。

岡村：どうして、そのような場所に追放されていたのでしょうか。

図



先生：ライプツィヒでフランスに勝利した対仏同盟軍がパリにまで侵攻し、彼を退位に追い込んで、その島に流したのです。しかし、その後にフランスを統治した国王は、反動的な政策を展開したため、国内での人気を落としました。そのことが、図の出来事につながる大きな要因になったと考えられています。

岡村：図では、左手を掲げる彼の足下にすがりついたり、ひざまずく人々がいますが、それはなぜでしょうか。

先生：これらの人々は、彼を迎え撃つために国王が派遣した兵士たちです。兵士たちの間には、彼に対する崇拜の念が強かったと言われます。

岡村：つまり、兵士たちが寝返った様子が描かれているということでしょうか。

先生：そのとおりです。

岡村：彼は、最終的には戦争に負けて捕虜になったのでしたよね。

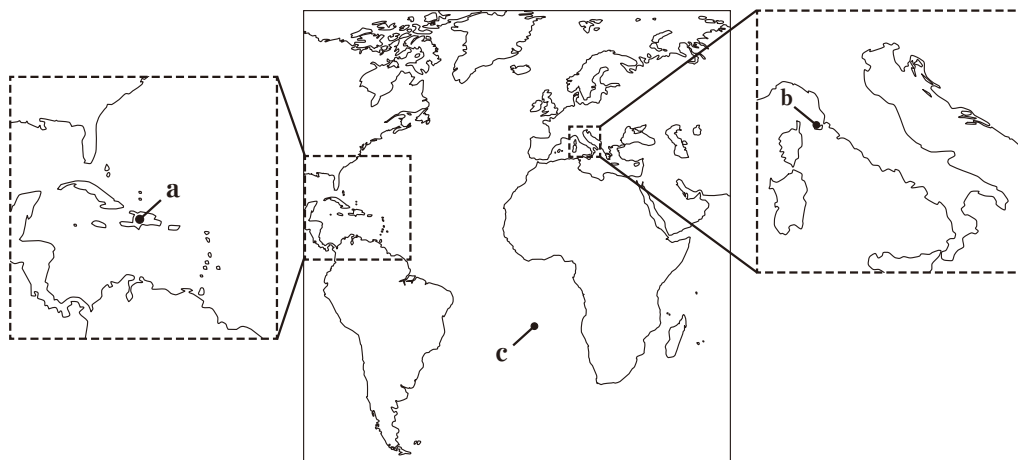
先生：そうです。図の出来事後、彼は権力の座に返り咲きましたが、その支配は長続きせず、ついには対仏同盟軍に敗れて **イ** に流され、そこで没しました。

世界史B

問 1 図の出来事が起こった時に、フランスを統治していた国王について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① アルジェリアを占領した。
- ② 恐怖政治を敷いた。
- ③ 国外逃亡を図り、ヴァレンヌで捕らえられた。
- ④ 王位に就いて、ブルボン朝が復活した。

問 2 文章中の空欄 ア と イ に入れる地域の位置と、その位置を示す次の図中の a～c との組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 14



- | | | |
|---|------|------|
| ① | アー a | イー b |
| ② | アー a | イー c |
| ③ | アー b | イー a |
| ④ | アー b | イー c |
| ⑤ | アー c | イー a |
| ⑥ | アー c | イー b |

B あるクラスで、科挙に関する授業が行われている。

高 木：中国の科挙について勉強しましたが、子どもの頃から儒学の経典を学んで、何回も受験する人が多いことに驚きました。学校はあったのでしょうか。

先 生：中国では、官立学校で儒学を教え、学生は官吏の候補として養成されました。科挙が定着した後、官立学校は全体に振るいませんでしたが、宋代には私立学校の書院が各地にでき、新しい学問である **ウ** も書院の活動のなかで生まれました。17世紀の顧炎武は、官立学校の学生身分を持つ者が増え過ぎて社会問題になっていると論じています。

高 木：学生が増えたのが社会問題になったのはなぜでしょうか。

先 生：王朝の交替を目の当たりにした顧炎武は、多くの学生が政治上の争いに加担したことを問題として挙げていますが、それには、彼が同時代のこととして見聞した、書院を拠点とした争いが念頭にありました。

高 木：それは、**エ** ことではないでしょうか。

先 生：そうです。彼はまた、学校教育の停滞も指摘していて、科挙合格のために、当時の官学であった **ウ** を表面的に学ぶことを問題視しました。そこで、学生のあり方や、科挙自体も大幅に改革すべきだと論じています。

吉 田：日本では科挙について議論はなかったのでしょうか。

先 生：江戸時代の儒学者の中には、科挙は文才を重視し過ぎて実際の役に立っていないとして、むしろ ④中国で科挙の開始より古い時代に行われた人材登用制度を参考にすべきだ という意見がありました。日本の社会には中国で理想とされる周代と共通する要素があると考え、周代の制度を参考にして、文才ではなく人柄を重視しようとしたのです。

吉 田：それはもっともな意見ですが、科挙を採用した国もありましたね。そうした国の人はどう考えていたのでしょうか。

先 生：例えば江戸時代の日本を訪れた朝鮮の知識人の一人が、日本には科挙がないので官職が全て世襲で決まり、埋もれた人材がいると書き残しています。日本の儒学者とは反対の意見です。

吉 田：それも納得できます。人材の登用はいろいろな問題があるのですね。

世界史B

問 3 文章中の空欄 **ウ** の学問について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **15**

- ① 科挙が創設された時代に、書院を中心に新しい学問として興った。
- ② 金の支配下で、儒教・仏教・道教の三教の調和を説いた。
- ③ 臨安が都とされた時代に大成され、儒学の経典の中で、特に四書を重視した。
- ④ 実践を重んじる王守仁が、知行合一の説を唱えた。

問 4 文章中の空欄 **エ** に入れる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **16**

- ① 宗教結社の太平道が、黄巾の乱を起こした
- ② 和平派の秦檜らと主戦派の岳飛らとが対立した
- ③ 土木の変で、皇帝が捕らえられた
- ④ 東林派の人々が、政府を批判した

問 5 下線部②について述べた文あ・いと、前の文章から読み取れる朝鮮や日本で見られた人材登用制度に関する考えについて述べた文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **17**

下線部②について述べた文

あ 地方長官の推薦による官吏任用が行われ、結果として豪族が政界に進出するようになった。

い 人材が9等級に分けて推薦され、結果として貴族の高官独占が抑制された。

朝鮮や日本で見られた人材登用制度に関する考え

X 朝鮮の知識人が、科挙を採用せず広く人材を求めない日本を批判した。

Y 日本の儒学者が、周の封建制を否定的に考え、科挙の導入を提唱した。

- ① あ — X
- ② あ — Y
- ③ い — X
- ④ い — Y

C 中国における書籍分類の歴史について、大学生と教授が話をしている。

内 藤：18世紀の中国で編纂された **オ** の「四」という数字はどういう意味ですか。高校では用語として覚えてだけで、深く考えませんでした。

教 授：**オ** に収められた書籍が、四つに分類されているためです。これを四部分類と言い、経部・史部・子部・集部からなります。

内 藤：なるほど、例えば儒学の経典なら経部に、歴史書なら史部に分類されているという具合でしょうか。

教 授：そのとおりです。史部について少し具体的に見てみましょう。資料1は、7世紀に編纂された『隋書』経籍志という書籍目録からの抜粋です。

資料1 『隋書』経籍志で史部に掲載されている書籍の一部

『史記』	『漢書』	『後漢書』	『三国志』
------	------	-------	-------

内 藤：挙げられたのはいずれも、紀伝体の歴史書ですね。

教 授：よく知っていますね。このうち、『漢書』は1世紀にできた歴史書ですが、その中にも芸文志という書籍目録があります。そこから、儒学の経典を主に収める分類である六芸略の書籍を抜粋したのが資料2です。

資料2 『漢書』芸文志で六芸略に掲載されている書籍の一部

『易経』	『尚書(書経)』	『春秋』	『太史公』
------	----------	------	-------

内 藤：高校で習った五経が含まれていますね。最後の太史公は、人名ですか。

教 授：これは司馬遷のことで、ここでは彼が編纂した『史記』を指します。

内 藤：『史記』は資料1では史部なのに、資料2では違いますね。分類の名前も違います。もしかして1世紀にはまだ四部分類がなかったのですか。

教 授：そのとおりです。当時は史部という分類自体、存在しませんでした。この分類が独立し、定着していくのは、歴史書の数が増加した3世紀から6世紀にかけてのことです。

世界史B

内 藤：でも、歴史書の数が増えただけで分類方法まで変わるのでしょうか。
『史記』が経典と同じ分類なのも不思議ですし、ちょっと図書館で調べてみます。

問 6 文章中の空欄 に入れる語と、 を編纂した王朝について述べた文との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 『四書大全』— 皇帝に権力を集中させるため、中書省を廃止した。
- ② 『四書大全』— 漢人男性に辮髪を強制した。
- ③ 『四庫全書』— 皇帝に権力を集中させるため、中書省を廃止した。
- ④ 『四庫全書』— 漢人男性に辮髪を強制した。

問 7 次の書籍あ・いが『漢書』芸文志の六芸略に掲載されているかどうかについて述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

あ 『詩経』

い 『資治通鑑』

- ① あのみ掲載されている。
- ② いのみ掲載されている。
- ③ 両方とも掲載されている。
- ④ 両方とも掲載されていない。

問 8 前の文章を参考にしつつ、中国における書籍分類の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 1世紀には『史記』や『漢書』のような歴史書が既に存在し、史部という分類も定着していた。
- ② 3世紀から6世紀にかけて、木版印刷の技術が普及したことで、史部に含まれる歴史書が増加した。
- ③ 7世紀の書籍目録において、『史記』と同じ分類に、本紀と列伝を主体とする形式の書籍が収められた。
- ④ 18世紀までには、宣教師の活動によって西洋の学術が中国に伝わり、四部分類は用いられなくなっていた。

第4問 歴史を考察する上で、資料は不可欠である。世界史上の様々な歴史資料について述べた次の文章A～Cを読み、後の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

A あるクラスで、次の貨幣1・2を基に、授業が行われている。

貨幣1



表の面



裏の面

貨幣2



表の面



裏の面

先生：この2枚の歴史的な貨幣は、東地中海沿岸地域において造られたものです。貨幣1と貨幣2はとても似ていますが、図柄の細部が異なっています。皆さんが調べてきたことを報告してください。

広田：貨幣1は7世紀前半に、発行国の首都であるコンスタンティノープルで造られた金貨です。ソリドゥスと呼ばれる形式の貨幣で、品質が高いことで知られていました。表の面には、発行当時の皇帝とその共同統治者が描かれ、裏面には、中央に十字架、周縁に皇帝の礼賛文が書かれています。

鈴木：貨幣1と同様の形式の貨幣は、地中海世界において国や地域を超えて信用され、流通していました。西アジア地域では、以前から貨幣の使用が活発でしたので、ムアーウィヤが開いた王朝にも征服地で使用する貨幣の発行が求められたようです。

世界史B

佐々木：貨幣2は、その王朝が貨幣1を模倣して、7世紀後半にシリア地域で発行した金貨です。貨幣2の表の面には人物像が残っていますが、裏面にはアラビア語の銘文が刻まれ、預言者ムハンマドの名前も見られます。このことから、この王朝の支配者がイスラーム教を信仰していることを主張していると分かります。また、図柄にも改変が加えられているように見えます。

鈴木：貨幣2の裏面で、十字架が1本の棒の図柄に変えられているところなどを見ると、貨幣2の模倣の仕方が面白いですね。

先生：貨幣2を発行した王朝では、行政において、シリアとエジプトではギリシア語が、イランとイラクではペルシア語が、主に用いられていました。しかし、貨幣2の発行者は、行政で用いる言語をアラビア語に変更させるなど、統治制度の改革を行っています。7世紀末にはさらに、アラビア文字のみが刻まれた独自の貨幣に改めましたが、これも行政で用いる言語の変更と同様の趣旨があると思います。

問1 貨幣1を発行した国、または貨幣2を発行した王朝について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① 貨幣1の発行国では、ゾロアスター教が国教とされた。
- ② 貨幣2を発行した王朝は、パルティアを征服した。
- ③ 貨幣1の発行国では、ローマ法の集大成が行われた。
- ④ 貨幣2を発行した王朝は、バグダードに都を置いた。

問 2 授業の後、生徒たちは授業の内容を基にメモを作成した。前の文章を参考にしつつ、生徒たちがまとめた次のメモの正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 22

佐々木さんのメモ

貨幣2を発行した王朝は、各地で使われていた言語を行政において用いることを認めていたが、貨幣2の発行者はそれをアラビア語に変更するなど、統治制度の改革を進めた。アラビア文字のみが刻まれた独自貨幣の発行も、そのような改革の一例であったと言える。

鈴木さんのメモ

貨幣2を発行した王朝は、貨幣1を模倣しながらも、十字架の図柄を改変しコーラン(クルアーン)の言語で刻まれた銘文を採用して、王朝の支配者がイスラーム教を信仰していることも明確に打ち出した。

広田さんのメモ

ソリドゥス金貨は、ヴァンダル王国を滅ぼした皇帝によって発行が始められた。それが地中海世界において国や地域を超えて流通しており、その信用性を利用しようとしたことが、貨幣2が貨幣1を模倣して発行された理由の一つだった。

- ① 佐々木さんのみ正しい。
- ② 佐々木さんと鈴木さんの二人のみが正しい。
- ③ 鈴木さんと広田さんの二人のみが正しい。
- ④ 三人とも正しい。

世界史B

B あるクラスで、資料を用いた古代ギリシアについての授業が行われている。
(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

先生：陸上競技のマラソンという種目名が、マラトンの戦いに由来しているという話を聞いたことがある人もいるかもしれません。その話を伝える次の資料1・2を読んで、何か気付いたことはありますか。

資料1

ヘラクレイデスは、テルシッポスがマラトンの戦いについて知らせに戻たと記している。しかし、今の多くの人々は、戦場から走ってきたのはエウクレスだと言っている。エウクレスは到着してすぐ、「喜べ、私たちが勝利した」とだけ言って、息絶えた。

資料2

言われているところでは、長距離走者のフィリッピデスがマラトンから走ってきて、勝敗についての知らせを待っていた役人に、「喜べ、私たちが勝利した」と言った後、息絶えた。

松山：資料1と資料2では、使者の名前が違います。なぜでしょうか。

先生：明確な理由は分かりませんが、資料が書かれた時代が手掛かりになります。資料1を書いたのは『対比列伝』を著した人物で、資料2は別の文人によるものです。二人とも、五賢帝の時代を中心に活躍しました。

松山：資料1と資料2は、いずれもマラトンの戦いからかなり後になって書かれたので、正確な情報が伝わっていなかったのかもしれませんがね。

先生：その可能性はあるでしょう。ただし、資料1で紹介されているヘラクレイデスはアリストテレスの下で学んでいた人物だと言われています。

松 山：ということは、**ア** ことになりますね。マラトンの戦いに時代が近い人物が信頼できるとしたら、使者の名前は **イ** というのが、この中では一番あり得そうだと思います。

先 生：その考え方は、筋が通っていますね。

竹 中：でも、もっと古い資料はないのでしょうか。

先 生：同じ内容を伝える資料は資料1・2のほかに知られていません。マラトンの戦いを含む **ウ** を主題とした紀元前5世紀の歴史家の著作には、資料2にあるフィリッピデスという名前が、マラトンの戦いの後ではなく、その前にスパルタに派遣された使者として言及されています。

竹 中：もしかしたら、勝利を伝えるために使者が走って戻ってきたという話は史実ではなく、後世に作られた可能性があるんじゃないでしょうか。

先 生：鋭い指摘ですね。現存する資料から分かるのは、五賢帝の時代よりも前のある段階でその話が成立していたということです。

問3 文章中の空欄 **ア** に入れる語句あ・いと、空欄 **イ** に入れる人物の名X～Zとの組合せとして正しいものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

23

ア に入れる語句

あ 資料1・2の著者は二人とも、ヘラクレイデスよりもマラトンの戦いに近い時代に生きていた

い ヘラクレイデスは、資料1・2の著者たちよりもマラトンの戦いに近い時代に生きていた

イ に入れる人物の名

X エウクレス

Y テルシッポス

Z フィリッピデス

① あ—X

② あ—Y

③ あ—Z

④ い—X

⑤ い—Y

⑥ い—Z

世界史B

問 4 文章中の空欄 **ウ** の戦争について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **24**

- ① イオニア地方のギリシア人の反乱が、この戦争のきっかけとなった。
- ② この戦争でギリシア人と戦った王朝は、エフタルを滅ぼした。
- ③ この戦争の後に、アテネを盟主としてコリントス同盟(ヘラス同盟)が結成された。
- ④ ギリシア軍が、この戦争中にプラタイアイの戦いで敗北した。

問 5 前の文章を参考にしつつ、マラトンの戦いの勝利をアテネに伝えた使者について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① アテネで僭主となったペイシストラトスは、使者の話を知っていた可能性がある。
- ② 使者の話は、トゥキディデス(トゥキュディデス)の『歴史』に記されている。
- ③ プルタルコス(プルタルコス)は、使者の名前について異なる説を併記している。
- ④ 使者についての資料2の記述は、ヘロドトスの『歴史』を正確に反映している。

C 次の資料1～3は、ブリテン島の修道士であったベーダが、731年頃に執筆した著作の一部である。(引用文には、省略したり、改めたりしたところがある。)

資料1

マルキアヌス(注1)が即位した年、有力なゲルマンの三つの民が、三艘^{そう}の船でブリテン島を訪れた。彼らはサクソン人、アングル人、そしてジュート人(ユート人)であった。

(注1) カルケドン公会議を開いた皇帝。

資料2

私ことベーダが執筆している今のブリテン島には、五つの言語がある。すなわち、アングル人の言語、ブリトン人(注2)の言語、スコット人(注3)の言語、ピクト人(注4)の言語、そしてラテン語である。

(注2) ここでは、ウェールズに住み、ケルト語派の言語を話した人々を指す。

(注3) ここでは、アイルランドやスコットランドに住み、ケルト語派の言語を話した人々を指す。

(注4) スコットランドに住み、ケルト語派の言語を話したとされる。

資料3

ある日ローマの市場において、若き日の教皇グレゴリウス1世は、色白で端正な顔立ちの、美しい髪をした少年たちが、売りに出されているのを見かけた。グレゴリウスが彼らはどこから連れてこられたのかと尋ねたところ、ブリテン島からであり、そこの住人は皆このような容姿をしているという。彼は再び尋ねた。その島の住人はキリスト教徒か、それとも異教徒なのかと。彼らは異教徒であるとの返事であった。彼らは何という民なのかと、グレゴリウスはさらに尋ねた。アングル人と呼ばれているということであった。これを聞いてグレゴリウスは言った。「ちょうど良い。彼らは天使の顔をしている。彼らのような人々は天にいる天使を継ぐ者であるべきだ。」(注5)

(注5) 発音の類似性から、「アングル人」と「エンジェル(天使)」が掛けられている。

世界史B

資料1は **エ** と呼ばれる歴史的出来事に関する記述である。そこに登場する「ゲルマンの三つの民」は、出身地とされる北西ドイツとその周辺に由来する言語、すなわち英語(注6)を共通の言語としつつ、ブリテン島で多数の政治的共同体を形成した。それらの統合が進んだのは10世紀半ば、西サクソン人の王によってであった。資料2は、ブリテン島の言語集団についての説明である。ここで注目したいのが、資料1と資料2とでは、「アングル人」の意味する内容に違いがあることである。こうした違いの歴史的背景を教えてくれるのが、資料3である。そこでは若き日にグレゴリウス1世が、ローマで出会ったアングル人に天使を重ね合わせて、彼らへの布教を決意したとされている。①もとの意味に「布教対象の民」という別の意味が加わった結果、「アングル人」は、ベーダの生きた時代には、教会に導かれるキリスト教徒の共同体であると同時に、英語を話す人々を包括的に表す際の用語ともなっていた。彼らの住む地域は、10世紀末には「アングル人の土地」、すなわちイングランドと呼ばれるようになる。

(注6) 1100年頃まで話されていた古英語のことを指す。

問6 文章中の空欄 **エ** に入れる語句と、資料1と資料2が示す「アングル人」について述べた文あ・いとどの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **26**

資料1と資料2が示す「アングル人」について述べた文

あ 大陸から渡来してきた民の一つで、サクソン人やジュート人(ユート人)と並置される集団のことである。

い サクソン人やジュート人(ユート人)をも含めた、共通の言語を話す集団の総称である。

	エ	資料1	資料2
①	東方植民	あ	い
②	東方植民	い	あ
③	ゲルマン人の大移動	あ	い
④	ゲルマン人の大移動	い	あ

問 7 資料 1～3 で記されている出来事や事柄の年代が、古いものから順に正しく配列されているものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

- ① 資料 1 → 資料 2 → 資料 3
- ② 資料 1 → 資料 3 → 資料 2
- ③ 資料 2 → 資料 1 → 資料 3
- ④ 資料 2 → 資料 3 → 資料 1
- ⑤ 資料 3 → 資料 1 → 資料 2
- ⑥ 資料 3 → 資料 2 → 資料 1

問 8 下線部②に関連して、キリスト教が社会に与えた影響について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① クローヴィスの改宗によって、フランク王国は、先住のノルマン人の支持を得ることができた。
- ② 聖職者(司祭)のジョン＝ボールが、「アダムが耕しイヴが紡いだとき、だれが貴族(領主)であったか」と説教し、農民一揆を指導した。
- ③ コンスタンティヌス帝は、勢力を増したキリスト教徒を統治に取り込むために、統一法を発布した。
- ④ ボニファティウス 8 世の提唱した第 1 回十字軍に、ヨーロッパ各地の諸侯や騎士が参加した。

世界史B

第5問 歴史統計は、各地の社会経済の構造やその変化を反映している。歴史統計について述べた次の文章A・Bを読み、後の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

A あるクラスで、世界史の授業が行われている。

先生：次の表は、1929年の東南アジアにおける4つの植民地の主要な輸出先とその比率を示しています。表中のインドネシアは、現在のインドネシアに当たる植民地を指します。マラヤ(マレー)には、海峡植民地が含まれています。ここからどのようなことが分かりますか。

表 1929年の東南アジア各地の輸出先とその比率(輸出額上位5地域) (単位：%)

インドネシア		マラヤ		フィリピン		インドシナ	
マラヤ	28.1	ア	42.2	ア	75.7	香港	32.1
オランダ	21.0	イギリス	14.3	日本	4.3	フランス	22.1
ア	14.5	インドネシア	9.4	イギリス	4.3	マラヤ	10.8
インド	5.8	日本	4.2	中国	1.9	インドネシア	9.8
イギリス	5.6	フランス	4.1	フランス	1.4	中国	7.2

(『岩波講座 東南アジア史6』より作成)

石田：植民地は、宗主国としか貿易できないと思っていましたが、そうでもないですね。4地域の中で宗主国がトップなのは一つだけです。

先生：そのとおりです。宗主国との貿易の比率が高い地域とそうでない地域があり、輸出品や宗主国によって事情が異なります。①マラヤの宗主国が進めた自由貿易政策は東南アジア全体に影響を与えました。

佐藤：マラヤは、アへの輸出の比率が高いですね。なぜですか。

先生：マラヤの主要な輸出品はゴムでした。②統計が取られた時点で、アにおいて、ゴムの需要が高まっていたのです。

工藤：インドシナも特徴的です。香港、中国といった東アジアの諸地域や、同じ東南アジアの植民地が上位に名を連ねています。

先生：インドシナの主要な輸出品は米でした。アジア地域の開発による人口増加に伴い、食糧として米の需要が大きかったと考えられます。

石田：この時期の東南アジアは植民地として政治的に分割されましたが、経済的には近隣の諸地域との関係が強かったのですね。他の地域でも同じことが言えるのでしょうか。

先生：それはまた調べてみましょう。東南アジアにおいても、ちょうどこの年にニューヨークで起こった株価暴落を契機として、この構造は変化していくことになります。

問 1 下線部㉔の歴史について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① シンガポールを獲得して、東南アジアにおける交易の拠点とした。
- ② 19世紀後半に、自国の東インド会社の貿易独占権を廃止した。
- ③ 清との間に、公行の廃止を定めた北京議定書を結んだ。
- ④ オタワ会議(オタワ連邦会議)により、スターリング=ブロック(ポンド=ブロック)を廃止した。

問 2 文章中の空欄 ア に入れる国の名あ・いと、下線部㉕の背景として最も適当な文X・Yとの組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 30

ア に入れる国の名

あ ドイツ い アメリカ合衆国

下線部㉕の背景として最も適当な文

X 大量生産方式により、自動車の普及が進んだ。

Y アウトバーンの建設が進められた。

- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

世界史B

問 3 前の文章を参考にしつつ、1929年当時の東南アジア各地の経済と貿易について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① コーヒー栽培が進められたインドネシアは、宗主国向けの輸出額の割合が4地域の中で最も低かった。
- ② ゴムプランテーション(ゴム園)の労働者として移民が流入したマラヤは、インドシナの輸出額上位5地域の中に入っていた。
- ③ フィリピンでは強制裁培制度による商品作物生産がなされており、アジア向けの輸出額は全体の2割以下であった。
- ④ インドシナの輸出額において最大であった地域は、インドシナと同じ宗主国の植民地であった。

B 世界史の授業で、先生と生徒たちが歴史統計を見ながら会話をしている。

先生：今回の授業では、歴史統計から世界史上の出来事について考えてみましょう。取り上げるのは、産業革命です。◎世界初の産業革命は、イギリスで起こりました。次の表1・2は1600年から1801年にかけてのイングランドの人口統計です。これらを見て、どのようなことに気付きましたか。

表1 イングランドの都市人口比率 (単位：1000人)

年	1600	1670	1700	1750	1801
イングランド総人口	4110	4980	5060	5770	8660
都市人口合計	335	680	850	1215	2380
都市人口比率(%)	8.25	13.50	17.00	21.00	27.50

(注) 都市人口比率の数値は、原典の数値及び算出方法による。

表2 イングランドの農村農業人口比率 (単位：1000人)

年	1600	1670	1700	1750	1801
イングランド総人口	4110	4980	5060	5770	8660
農村農業人口	2870	3010	2780	2640	3140
農村非農業人口	900	1290	1430	1910	3140
農村農業人口100人当たりの総人口(人)	143	165	182	219	276

(表1・2とも E. A. Wrigley, *People, Cities and Wealth* より作成)

高橋：まず、表1を見ると、イングランドの総人口は、18世紀後半に急速に増加しています。そして、都市人口も増えています。この前の授業で、マンチェスターやリヴァプールなどの都市が発展したと学びました。

世界史B

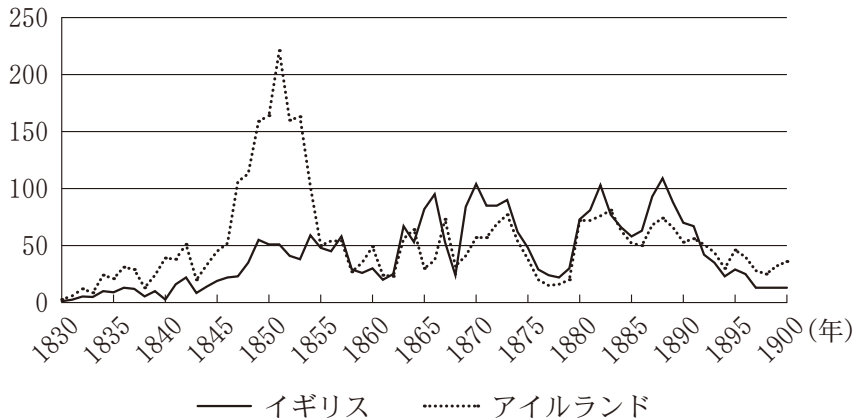
松 山：表2を見ると，都市人口だけではなく，農村に住んでいながら農業に従事していない人口も増えていますよね。

先 生：二人ともそのとおりです。表1・2の検討をさらに進めましょう。それでは，こうした変化の背景として，当時，何が起こっていたのだと考えられますか。

高 橋：18世紀後半の時期について，ことが読み取れます。それは，当時のイギリスにおいて，ことで，食料の供給が安定していたためだと考えられないでしょうか。

先 生：そのとおりです。人口統計には，社会や経済の大きな変化が表れているのです。次にグラフを見てください。これは，イギリスやアイルランドからアメリカ合衆国へ渡った移民の数をまとめたものです。

グラフ イギリスとアイルランドからアメリカ合衆国への移民数
(単位：1000人)



(グラフはB. R. ミッチェル編『イギリス歴史統計』より作成)

松 山：移民の送り出し国や受け入れ国で起こった出来事が移民数の変動に影響しているようですね。グラフを見ると，と思うのですが。

先 生：よく勉強していますね。これらの歴史統計を見ると，産業革命の時期に社会が大きく変化するなかで，イギリスの国内外で人の移動が活発になっていたことがうかがえます。

問 4 文章中の空欄 と に入れる文の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イー表1を見ると、都市人口比率が上昇している
ウー土地が囲い込まれ(第2次囲い込み)、新農法が導入された
- ② イー表1を見ると、都市人口比率が減少している
ウー鉄道建設が進み、全国的に鉄道の輸送網が完成した
- ③ イー表2を見ると、農村農業人口100人当たりの総人口が上昇している
ウー農業調整法(AAA)が制定され、農産物の生産量が調整された
- ④ イー表2を見ると、農村農業人口100人当たりの総人口が減少している
ウー穀物法の廃止により、穀物輸入が自由化された

問 5 文章中の空欄 に入れる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 1840年代中頃にアイルランドで大飢饉(ジャガイモ飢饉)が発生した後、1840年代後半にはアイルランドからの移民は増加している
- ② 1850年代中頃にアイルランドがクロムウェルにより征服され、土地没収が強行された後、1850年代後半にはアイルランドからの移民は減少している
- ③ 1870年代初めにアメリカ合衆国で南北戦争が始まった後、1875年のイギリスからの移民は、1870年よりも減少している
- ④ 1890年代初めにアメリカ合衆国でフロンティアの消滅が宣言された後、1895年のイギリスからの移民は、1890年よりも増加している

問 6 下線部㉔について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 大西洋の三角貿易を通じて、綿製品、茶、アヘンが取引された。
- ② ダービーによって開発された、コークスを使用する製鉄法が利用された。
- ③ 選挙権の拡大を目指して、ラダイト運動(機械打ちこわし運動)が発生した。
- ④ 1833年の工場法の制定によって、大気や水の汚染問題の改善が図られた。